

# 大町少年少女発明クラブ

## 令和6年度活動の記録

### クラブ員 (計14人)

大町中 1人 大町西小 2人 大町南小 6人 大町北小 1人  
美麻小中 1人 松川小 1人 穂高北小 2人

期 間 令和6年6月23日(日)～令和7年2月11日(日)

### 経 過

- ・開講式 6月23日
- ・物理体験(磁石落下実験, ブーメラン, ガリガリトンボ) 6月30日
- ・木工基礎(シーソーベル製作) 7月7日
- ・ドローン体験Ⅰ 7月21日
- ・飛行実験(紙トンボ, スカイスクリュー他) 8月25日
- ・模型飛行機製作Ⅰ-Ⅳ 9月1日・8日・15日・22日
- ・模型飛行機調整～記録会 9月29日
- ・缶ストーブ製作～調理 10月13日・20日
- ・ドローン体験Ⅱ 10月27日
- ・ロボカップジュニア大町 11月2日・3日・10日
- ・長野高専サイエンスツアー(金属探知機製作) 11月17日
- ・修了式 11月24日
- ・二次燃焼型缶ストーブ携行雪中ハイク 令和7年2月11日



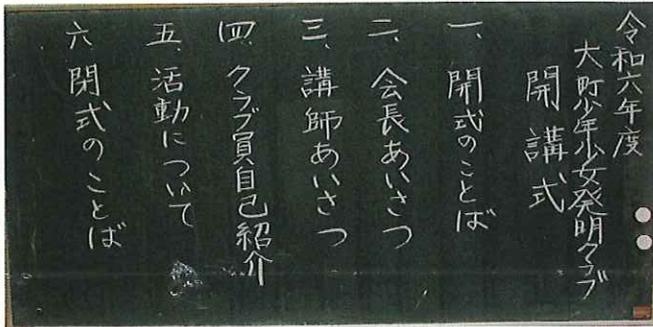
# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

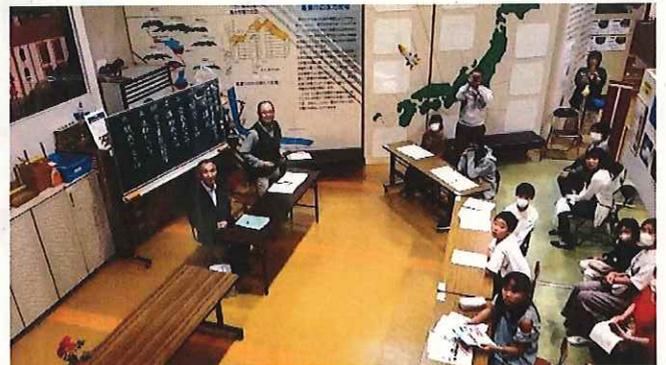
## 大町少年少女発明クラブR6-01「開講式」

06 23, 2024

6月23日、「令和6年度大町少年少女発明クラブ 開講式」を行いました。  
今期のクラブ員は14名、元気に楽しく、しっかり学んでいきましょう！



下記の写真↓は、このドローン↑で撮影（撮影：石井講師）



# 工作や模型ものづくり体験

## 大町 エネ博 少年少女発明クラブ開講

大町市平の大町エネルギー博物館(上原達宏館長)が主催する、令和6年度「少年少女発明クラブ」が開講した。6月23日に同館で開講式が開かれた。

本年度は昨年からの継続生と新たな仲間を加え、市内外から小学生14人が集った。クラブ会長を務める中村一郎教育長は「私たちの生活は発明によって

便利なものとなっていて、自分で考え、友達と考え合うことでいろいろなものが見えてくる。工夫することや、面白いと思ったことを試しながらクラブを楽しんでいこうとした。

その後クラブの指導をしてくれる指導員の紹介や自己紹介を行った。クラブ員たちは「模型飛行機大会にも出たい」など、目標も力強く語った。

少年少女発明クラブは、ソニー創業者の井深大氏が次代を担う青少年にもものづくりに親しむ環境を整え、ものづくりに携わる人材を育成しようと1974年に誕生した。大町のクラブはエネルギー博物館開館した1982

年に発足。基礎工作や模型飛行機の製作などで、ものづくりの楽しさを伝えている。

本年度は11月までの活動で、初のドローン体験や木工、模型飛行機の製作、プログラミングなどに取り組み。2月は特別プログラムとして雪中ハイイクを予定している。



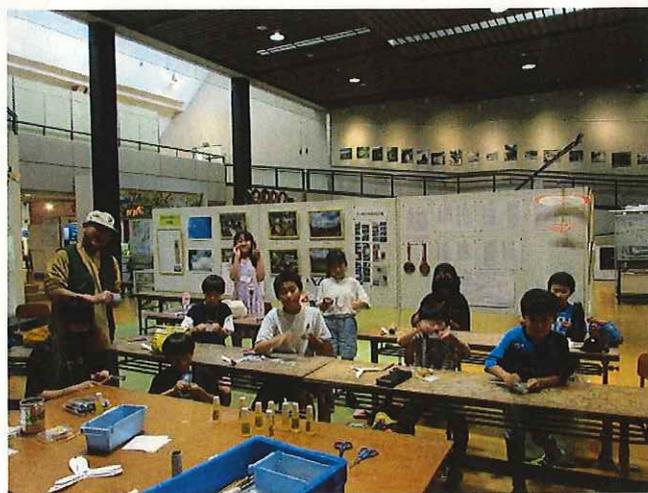
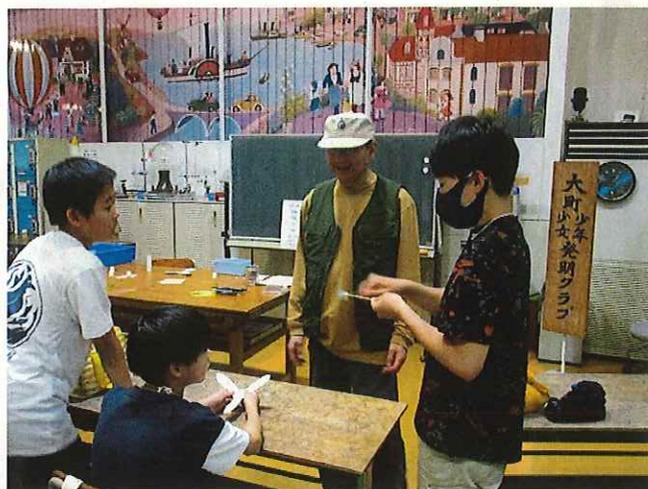
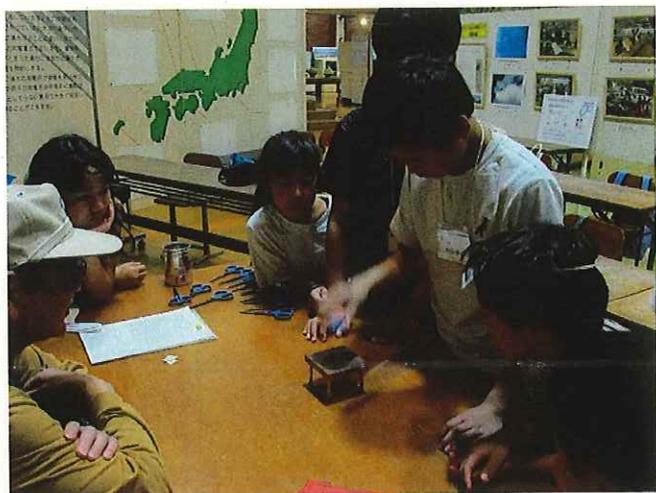
今年も発明クラブが開講した

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブ活動 R6-02 「物理体感」

06 30, 2024



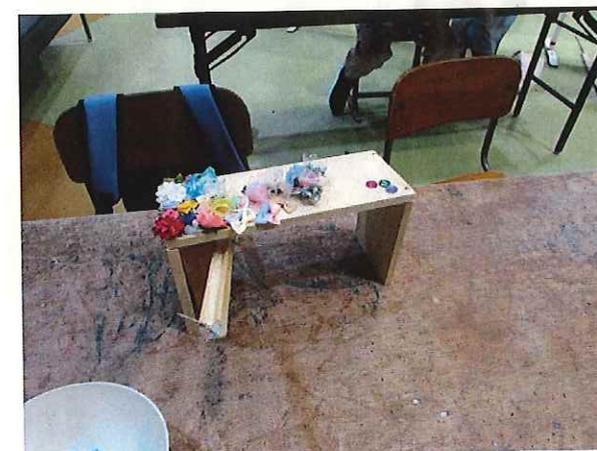
6月30日、発明クラブ今期最初の活動は、磁石落下実験～ブーメランやガリガリトンボの工作。  
ただ作るだけでなく、「なぜそうなるのか？」よく考えながら、楽しく物理を体感しました。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町青少年少女発明クラブ活動 R6-03 「シーソーベル」

07 07, 2024



7/7 (日)、勝野講師に指導いただき、木工基礎工作を行いました。  
「想像力」と「創造力」を使って、よくがんばりました！

# 木工からものづくりふれる

## 大町工博 町 発明クラブ 市民講師に体験

大町市平の大町エネルギー博物館(上原達宏館長)で活動する、大町少年少女発明クラブは7日、基礎工作活動を実施した。市内で建築業を営む勝野英男さんを講師に、木工作の作品づくりを通じ、想像力から創造力へと発展させていく、科学の世界の面白さにふれた。

勝野さんは「発明は想像から始まって創造ができれば成功する。ものづくりも空想の想像力と、創り上げる創



安全な道具の使い方をも学んだ

造力が大事。作ったものが自分のイメージに「みて」と話した。近い面白さを感じて

参加者は勝野さんの指導を受けながら、箱の上からビー玉を転がすシーソーを製作した。上部にビー玉を転がすさまさまなコースを作り、シーソーに落下させ、重しの鈴を鳴らす仕組み。パーツを並べたりそろえたり組んだりして組み立て、工夫にあふれる作品を完成させた。

子どもたちは楽しい装置の製作を通じ、科学や数学にも役立つ空間認識力や構成力を育てていた。



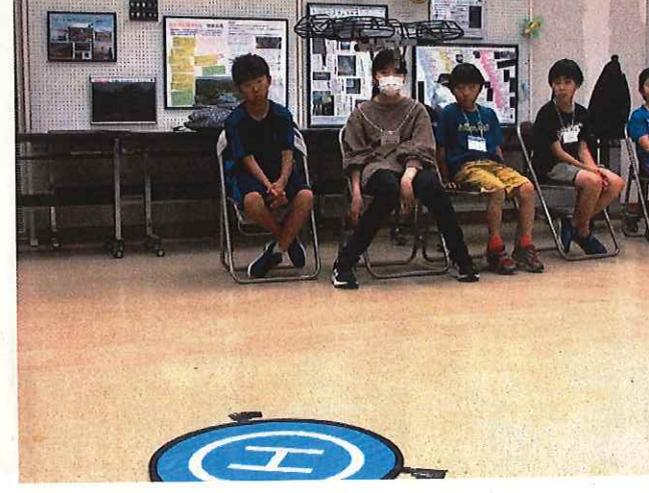
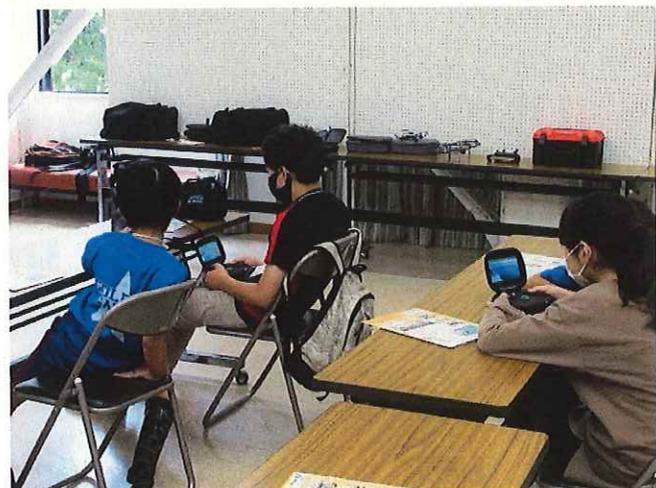
木工工作を楽しんだ

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブ活動 R6-04 「ドローン」

07 22, 2024



7/22(日)、石井講師にご指導いただき、ドローン講座を開催。  
午前中はドローンの基礎を学び、シミュレーターを体験。  
午後は実機を操作、仮想と現実の違いを実感できたと思います。  
発明クラブ初めてのドローン体験、楽しめましたね！  
次回、応用編は10/27(日)に予定しています。

令和6年7月21日 ドローン体験Ⅰ 感想

※ ①…感想, ②…やってみたいこと

- 中2女子 ① シミュレーターでは簡単と思ったけど、実際にやると少し動かしただけでも大きく動くので難しかった。  
② より高くまで飛ばしてみたい。
- 小6男子 ① シミュレーターでは木に当たらなかった。実際は降りる時が難しかった。タイムトライアルで一番になれた。  
② ドローンのゲームをやりたいと思った。
- 小6男子 ① 初めてドローンが飛ばせて面白かった。難しかったが、ドローンは動作について興味がわいた。  
② 地面スレスレで着陸しないようにするのをやりたい。
- 小6男子 ① 最初は操作方法になれなかったが、やっていくうちに操作になれて楽しかった。  
② 広い所でドローンを飛ばしてみたい。
- 小4男子 ① 操作が難しかったが楽しかった。  
② またタイムを競ってみたい。
- 小4男子 ① シミュレーションがすごく楽しかった。実際にはすごく難しかった。  
② 次はリレーをしてみたい。
- 小4男子 ① シミュレーターが楽しかった。  
② 次は小さいドローンも操縦したい。

操作を体験する子どもたち



# ドローン飛ばしルール知る

## 少年少女発明クラブ 大町エネ博で「体験会」

大町市平の大町エネルギー博物館(上原達宏館長)が主催する「少年少女発明クラブ」は21日、クラブの活動として初めてとなる「ドローン体験会」を開いた。ドローンパイロットの石井康介さんを講師に、ドローンの仕組みやルールとマナーなどを学び、実際に操作を体験した。

最初にパソコンのアプリを使い、基本的な操作を体験。ドローンが飛行する時に、どのような動きを見せるのかをリアルな画面で確認した。その後、実際に小型ドローンの操縦を体験した。

参加者はドローンを

離陸させ、上下前後へ移動などの操作を試みたあと、着陸。思った以上に敏感に反応してくれてびっくり。すぐ

く楽しい「外で飛ばす場合は事故に気をつけ楽しみたい」などの感想が聞かれた。

5 2024年(令和6年)7月28日(日曜日) 大糸タイムス



**基礎技術教え ドローン安全に**

「ドローンはさまざまな分野で有効に活用され、今後ますます活動範囲が広がっていく。しかし、利用にはルールを守ることが重要。安全に楽しむために、子どもたちにしっかりと操縦の知識と基礎技術を教えた」と話すのは、ド



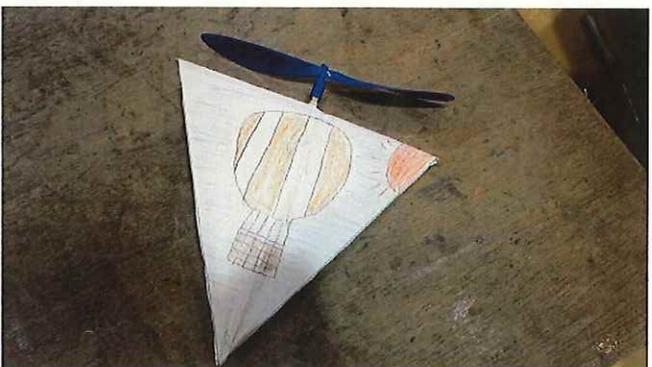
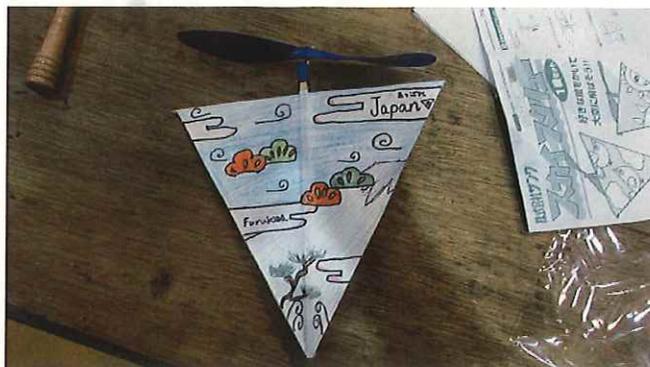
大町市平島嶼人の別荘期「大町コンノミスト村」に家族を移す。かねてからの交流が縁で、大町エネルギー博物館が主催する少年少女発明クラブの活動の一環として今年初めて取り入れた、ドローン体験の講師を務めている。「道員なので慣れてもらうのと、どこまでどこに使えるのかわからないかな」と子どもたちの新しい発想がドローン活用法を結びつけてもらえるとうれしい」と話す。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブ活動 R6-05 「飛行実験」

08 27, 2024



8月25日、発明クラブの活動は、飛行実験～紙トンボやスカイスクリューの工作。  
模型飛行機の製作に向けて、「なぜ飛ぶのか？」よく考えながら、楽しく物理を体感しました。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブ活動 R6-06 「模型飛行機」の製作と記録会 (第10回)

10 06, 2024



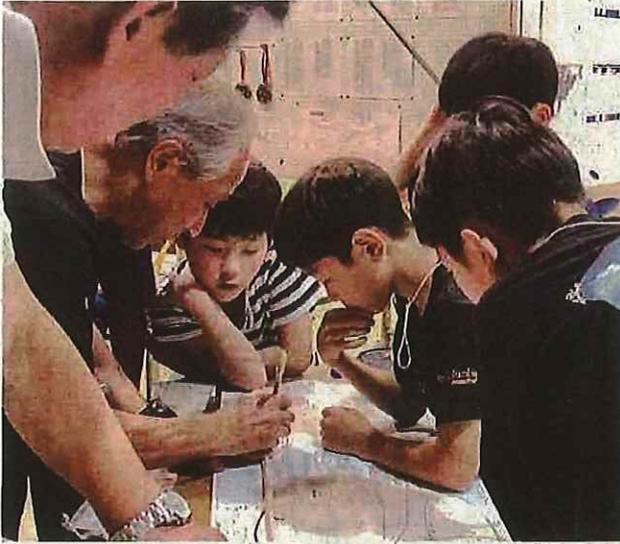


発明クラブ9月の活動は「模型飛行機」、9月1日(日)から4週かけて製作し、29日(日)に記録会を開催しました。(旧旧大町市立第一中学校グランド)  
最長滞空時間は23秒(歴代5位)、ほとんどの機体が10秒以上滞空し、がんばった成果をおもいっきり発揮することができました。

# 飛行機なぜ飛ぶ？興味津々

## 大町エネ博 発明クラブで模型作り

大町市平の大町エネ博 基礎工作「模型飛行機  
ルギー博物館(上原達 宏館長)で活動する、  
大町少年少女発明クラ ブは9月の活動として



飛行機はどつやっって飛ぶ？原理を解説

機を自作しながら、な  
ぜ空を飛ぶことができ  
るのか飛行の原理を理  
解し、航空に関する興  
味を高めている。  
最初に竹とんぼやス  
カイスクリューなどを  
使った飛行実験を行っ  
た。「飛行機は空気のか  
を利用して飛んでい  
る」と、飛べる理由の  
最も重要な要素につい  
て説明した。



模型飛行機の製作に挑戦

原理を理解したとこ  
ろで、模型キット  
を使って飛行機作  
りに挑戦した。安  
定した飛行性能を  
持つ、上級者向け  
のゴム動力の飛行  
機。今年の活動は  
「図面に従い、忠実  
に作る」ことを目  
標としていく。

29日は活動のま  
とめとして、自作  
の飛行機の滞空時  
間を競い合う恒例  
の「模型飛行機大  
会」を予定してい  
る。

# 大糸タイムス

発行所  
 ◎大糸タイムス社  
 長野県大田市磯町1851  
 〒398-0002  
 TEL0261(22)2110  
 FAX0261(22)2111  
 ホームページ  
<http://www.ohitotimes.co.jp/>  
 Eメール(記事)  
[hodo1@ohitotimes.co.jp](mailto:hodo1@ohitotimes.co.jp)  
 Eメール(広告)  
[koukoku@ohitotimes.co.jp](mailto:koukoku@ohitotimes.co.jp)  
 購読料1カ月2,300円(税込)  
 1部 100円  
 本紙購読申込所  
 羽田(大町西部)☎0261-22-1450  
 羽田(大町東部)☎0261-22-0553  
 羽田(常盤)☎0261-22-1450  
 誌売大町☎0261-22-4784  
 矢崎(池田)☎0261-62-2533  
 既売安曇野(池田)☎0261-62-2252  
 山本(白馬)☎0261-72-2024  
 (小谷)  
 藤沢(八坂)☎0263-87-2354  
 穂高(豊科)☎0263-83-7878  
 滝沢(豊科)☎0263-73-3000  
 島羽(明科)☎0263-62-2312

大町市平の大町エネルギー博物館(上原達宏館長)で活動する、大町少年少女発明クラブは9月29日、旧大町第一中学校の校庭で「第10回模型飛行機大会」を開いた。クラブ員やO.B.らが参加して、手作りの模型飛行機の滞空時間を競い合った。

9月の活動で基礎工作「模型飛行機の製作」を学び、模型飛行機を自作。図面に従い、忠実に作ることを目標として、安定した飛行性能を持つ飛行機作りに取り組んできた。大会では1人3回のフライトを行い、飛行時間が長いベストタイムで



大空に向かって模型飛行機を飛ばす参加者



自作の飛行機で滞空時間を競い合った

## 自作の飛行機 青空へ 大町エネ博 少年少女発明クラブ 滞空時間競い成果披露

順位を競い合った。プロペラを回すためのゴムを巻き、自作の愛機を青空に向けて次々に放ち、風に乗り、悠々と舞う姿に、歓声を上げていた。上原館長は「頑張って製作した成果が表れ、楽しい活動ができて良かった」と話していた。

上位入賞者は次の皆さん(敬称略)。

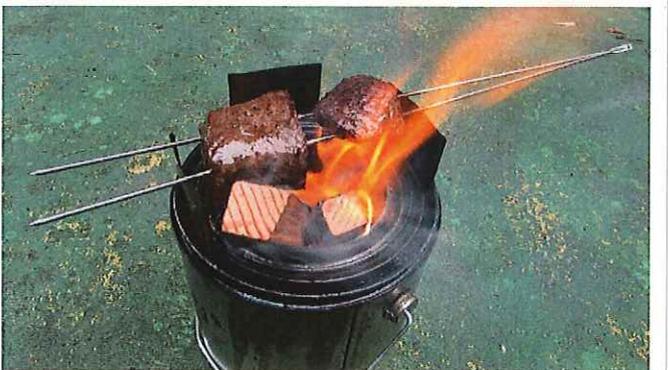
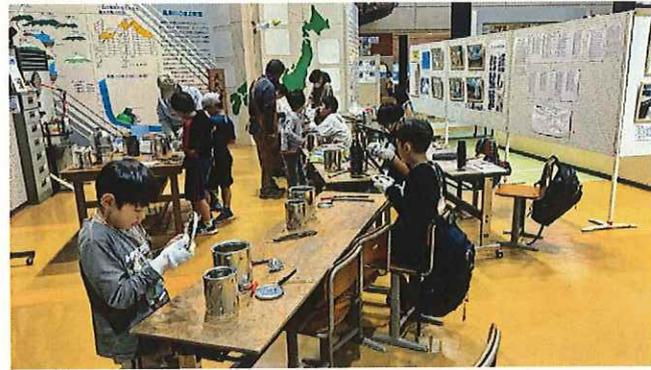
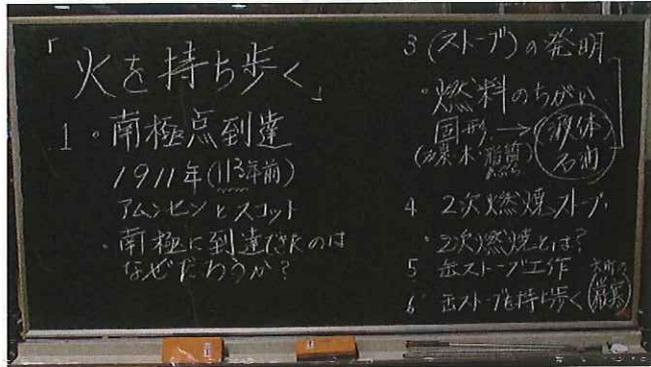
①落合柚乃(穂高北小6年)23秒  
 (歴代5位)、②村上稜空(松川小6年)17秒50、③古川奈南(穂高北小6年)17秒19

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブ活動 R6-07 缶ストーブ製作

10 20, 2024

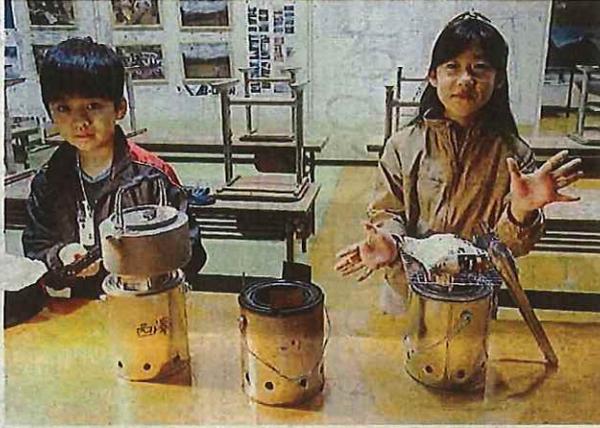


10月13日、「二次燃焼型携帯缶ストーブ」を製作し、20日、小枝等の燃料を拾い集めて、着火試験～各々持参した食材を調理しました。自分で関わった料理、格別に美味しかったですね😊 来年2月11日の「雪中ハイク」で使います!

# 冬の活動へ缶ストーブ完成

## 大町エネ博 発明クラブ工作 試運転も

大町市平の大町エネ博、基礎工作「缶ストーブ製作」を実施した。ものづくりの楽しさをふれながら、試運転で性能を確かめた。缶は10月の活動とし



自作の缶ストーブが完成

缶ストーブは落ち葉や木の枝など身近にあるものを燃料として火をおこす道具。毎年真冬の2月の特別活動として、雪中ハイクライベ

ントに使用する缶ストーブを自作している。子どもたちは大小のペンキ缶を使って煮炊きができるように加工。自分だけの缶ストーブを完成させた。試運転は施設周辺を

歩き、着火剤となる枯れた杉の葉やシラカバの皮を拾って歩き、性能を確かめた。牛乳パックを切ったものも使用。持続性はないが、一気に燃やして杉の葉や小枝に火を移し、持続する火起こしが効率的であることを学んだ。

火の勢いが落ち着くと、フライパンや網を置き、食材を乗せて調理を体験。多様に活用できる缶ストーブの使用心地に感動しながら、おいしく味わい、冬のイベントを楽しみにしていた。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブ活動 R6-08 ドローンⅡ

10 28, 2024



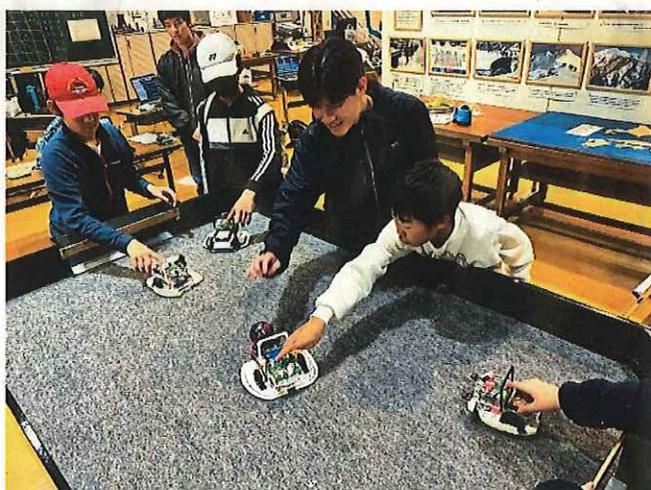
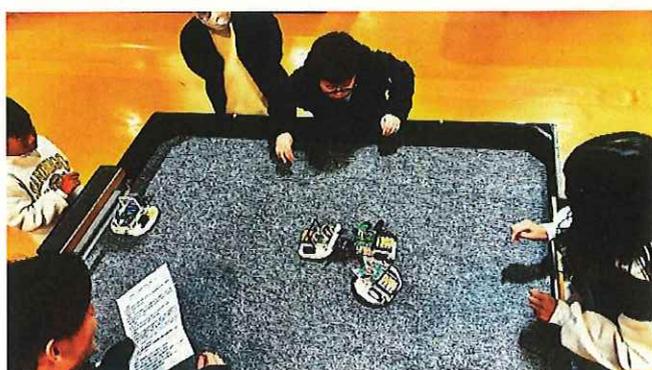
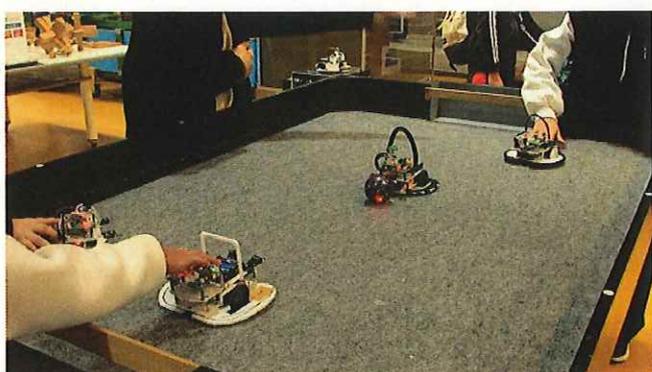
10月27日の活動は、ドローン講座の2回目（7/21第1回開催）。午前中はシミュレーターで勘を取り戻し、午後は自分たちでコースを設定し、タイムトライアルを行いました。ヴァーチャルとリアルの切替や空間の把握等、なかなか難しい課題でしたが、存分に楽しめましたね！

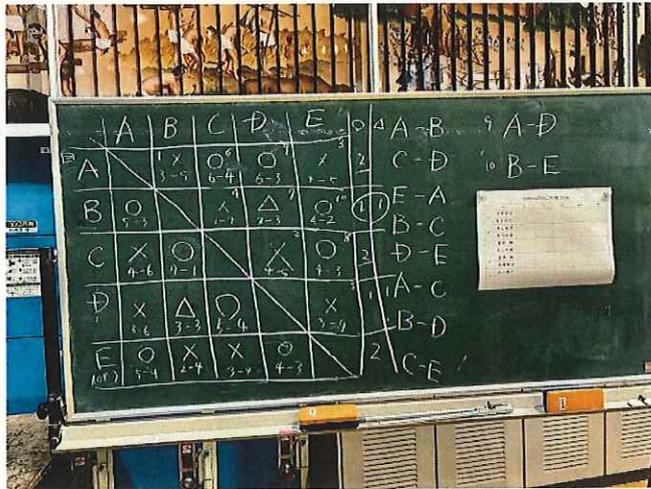
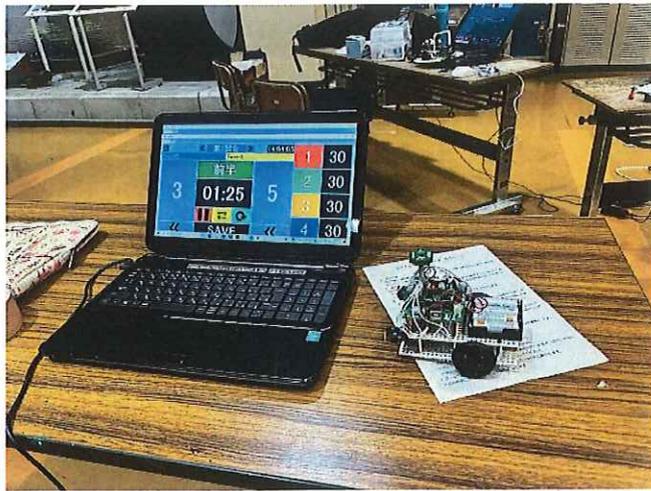
# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブ活動 R6-09 ロボカップジュニア大町

11 11, 2024





### ロボカップジュニア2024大町地区大会について

主催 大町少女発明クラブ（大町エネルギー博物館）  
 協力 長野工業高等専門学校機械ロボティクス系

日時 令和6年11月10日（日） 13時30分 ～ 15時

場所 大町市平2112-38 大町エネルギー博物館

#### 概要

計4台（2チーム）の自立型サッカーロボットによるサッカーゲーム。  
 赤外線センサー（ボールが出す赤外線を感知）やタッチセンサー  
 （壁など障害物を感知）で感知した情報をもとに予め設定（プログラム）  
 した動作を行い、ボールを相手側ゴールに入れることにより得点を得る。

#### 日程

11/2（土） ロボット製作～プログラミング  
 11/3（日） プログラミング ～ 動作確認（探偵統合）  
 11/10（日） AM 練習

#### 経過

大町地区大会は平成14年度より開催。（今回22回目）  
 長野高等機械ロボティクス系（R3年度まで機械工学科）には、  
 平成15年度より協力をいただいている。（今回21回目）

大町少女発明クラブ（OB 2名含む）希望者9名が参加。  
 二人でチームを組み、5チームによる戦い。1位は 村上 穂空君と、OBの 赤羽 甲全君の 2人組チーム。

「ロボカップジュニア 大町」2024

	勝	分	敗	順位
Aチーム	2	0	2	3
Bチーム	2	1	1	1
Cチーム	2	0	2	2
Dチーム	1	1	2	5
Eチーム	2	0	2	4

11/10（土）、「ロボカップジュニア大町地区大会」を行いました。9名（5チーム）が参加、ハード、ソフト両面で一生懸命くふうしながら、がんばりました。  
 1位は2勝1敗1分け、2位は2勝2敗で3チームが並ぶ大接戦でした。  
 1位チーム（村上穂空君、赤羽甲全君）は、12/7（土）に名古屋市で行われる「東海大会2024」へ出場します。

# 自作サッカーロボで熱戦

## 少年少女 大町地区大会に5チーム 発明クラブ



自作のロボットで熱戦を繰り広げた

大町市平の大町エネ  
ルギー博物館(上原達  
宏館長)で活動する、  
大町少年少女発明クラ  
ブは10日、同館で「ロ  
ボット」が参加。自分たちで組  
み立てやプログラミングミ  
ニ20 グラフ  
24大町地区大会を  
グした自立型サッカー  
開いた。5チーム9人 ロボットのゲームで、

性能を競い合った。

ゲームはボールが出  
す赤外線を感知するセ  
ンサーや、壁など障害  
物を感知するタッチセ  
ンサーで得た情報をも  
とに、ロボットがあら  
かじめプログラムした  
動作を行い、ボールを  
相手側ゴールに入れる  
ことで得点するルー  
ル。試合開始後はロ  
ボットに手を触れるこ  
とができない。

同じキットを使った  
ロボットでも、ボール  
を捕えやすくするため  
のアームや、機体同士  
が絡まないためのバン  
パーの取り付け方、ロ  
ボットを動かすプログ  
ラムはそれぞれ独自の  
工夫ができる。参加者  
は試合ごとにロボット  
とプログラミングを細  
かく調整しながら迫力  
満点の試合を繰り広げ  
た。

熱戦の結果、村上稔  
空君(松川小6年)と  
赤羽甲全君(穂高南小  
5年)のチームが2勝  
1敗1分で優勝。12月

に名古屋市中開かれる  
東海大会へ出場を決め  
た。4回の対戦中、2  
位のチームが2勝2敗  
で並ぶ大接戦となっ  
た。

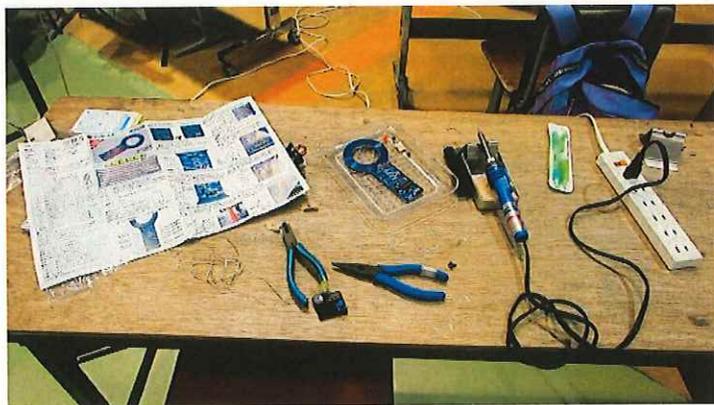
イベントは次世代の  
科学技術の担い手育成  
を目的に全国各地で開  
催。大町大会は平成14  
年から行われ、平成15  
年からは長野高専機械  
ロボティクス系が全面  
協力して開催してい  
る。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブ活動 R6-10 長野高専出前授業

11 18, 2024



11月17日（日）、大町少年少女発明クラブ今期最後の活動は「金属探知機」の製作。

長野工業高等専門学校工学科情報エレクトロニクス系教授の渡辺誠一先生にご指導いただきました。

渡辺先生には、長野高専サイエンスツアー（出前授業）として平成15年（2003年）より、令和2年を除いて毎年、「電子工作」を中心にご協力をいただいています。（今年で21回目）

渡辺さんの指導で全員が完成した



# 金属探知機作り原理学ぶ

大町エネ博 発明クラブ 長野高専教授が出前授業

大町市平の大町エネルギー博物館(上原達宏館長)で活動する、大町少年少女発明クラブで17日、長野工業高等専門学校(長野高専)の出前授業が行われた。同校副校長で情報エレクトロニクス系教授の渡辺誠一さんを招き、金属探知機製作を体験。電子部品の原理や基礎を学んだ。

渡辺さんはどのような仕組みで金属を探知するのか、分かりやすく解説。高専の学生や大学生が学ぶ難しい内容だったが、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていた。

金属探知機は、キットを使って金属を感知する基盤を作り、一人一人が組み立てた。細かな作業に苦戦しながらも作業を行い、自作した作品で性能を確かめて完成を喜び合った。



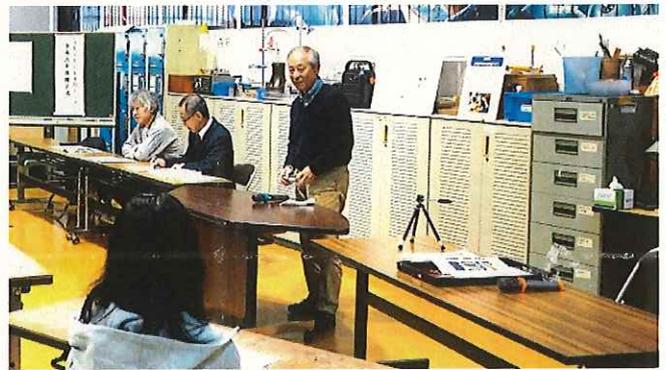
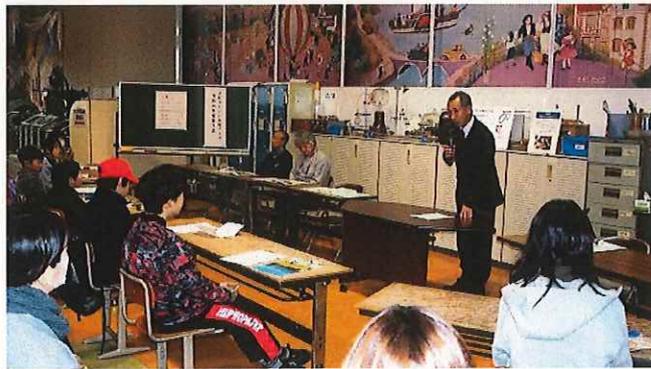
自作した金属探知機

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブR6-11「修了式」

11 24, 2024



11月24日、「令和6年度大町少年少女発明クラブ 修了式」を行いました。

今年度も15日間（開講式、修了式を除く）の活動を予定どおり終えることができました。講師の方々はじめ長野高専の先生方、学生さん、関わっていただいた皆さまに感謝です。学校も学年もそれぞれ異なったクラブ員の皆さんが、仲良く、楽しく、興味を持って元気に活動できたことが、何よりだと思います。活動の詳細は「大町エネルギー博物館ホームページ」内の「発明クラブ」の項、PDF（活動の記録）にリンクしていますので、ご覧いただければ幸いです。来年2月には恒例の二次燃焼型缶ストーブ携行雪中ハイクを予定しています。

# ものづくり活動 感想発表

## 大町エネ博 発明クラブ閉講式

大町市平の大町エネ  
ルギー博物館(上原達  
宏館長)が主催する、  
令和6年度「少年少女  
発明クラブ」の閉講式  
が11月24日、同館で開

かれた。本年度は昨年  
からの継続生と新たな  
仲間を加え、市内外か  
ら小中学生14人が集っ  
た。開講・修了式を除  
く毎月の活動は全15日  
間で、初のドローン体  
験や木工、模型飛行機  
の製作、プログラミング  
などに取り組んでき  
た。

閉講式では今期の活  
動を振り返り、一人一  
人が感想を発表した。  
新しいことにも失敗を  
恐れず果敢に挑戦し、  
それぞれに体験したも  
のづくりの喜びや工夫  
の楽しさ、成果をしっ  
かりと自分の言葉で  
語った。最後はクラブ

会長を務める中村二郎  
教育長から全員に修了  
証が手渡され、笑顔で  
受け取っていた。  
少年少女発明クラブ  
は、ソニー創業者の井  
深大氏が次代を担う青  
少年にもものづくりに親  
しむ環境を整え、もの  
づくりに携わる人材を  
育成しようと1974  
年に誕生。大町のクラ  
ブはエネルギー博物館  
が開館した1982年  
に発足し、基礎工作や  
模型飛行機などでもの  
づくりの楽しさを伝え  
ている。  
上原館長は「本年度  
も予定通り終えること  
ができ、子どもたちを

指導してくださった、  
講師の方々や長野高専  
の先生方の協力に心か  
ら感謝している。学校  
も学年もさまざまに違  
うクラブ員の皆さん  
が、仲良く楽しく興味  
を持って活動できたこ  
とが何よりと思う」と  
話していた。

来年2月には特別プ  
ログラムとして雪中ハ  
イクを予定している。



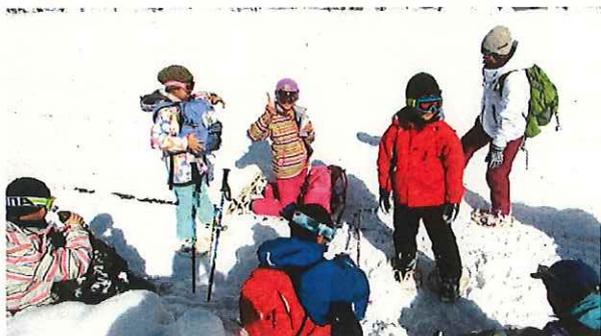
今期の活動の振り返りと感想を発表

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブR6-12「雪中ハイク」

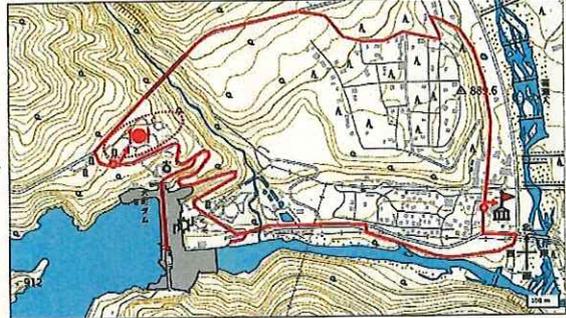
02 13, 2025





地理院地図  
Vector

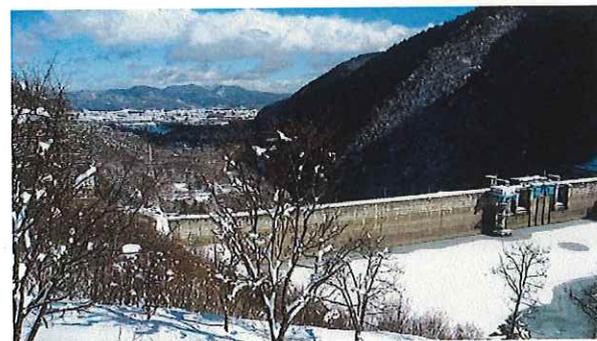
標高差 140 m



国土交通省 国土地理院「地理院地図Vector大町市平」を加工して作成  
<https://maps.gsi.go.jp/vector/#15.081/36.516763/137.786073/A/transparent/d/spot/Red/>



2月11日(建国記念の日)、発明クラブ恒例の「二次燃焼型缶ストーブ携行雪中ハイク」  
 例年より積雪が多く、「かんじき」歩行もしっかり体験できました。  
 大町ダム近くの緑地公園「小太郎広場」で各人が10月に自作した缶ストーブでクッキング、  
 ソーセージ、スモークチキン、ベーコンエッグ、お餅、サンドイッチ、チーズ、マシュマロ、ポップコーン  
 趣向を凝らした料理を美味しく味わいました！  
 天候に恵まれ、白銀の世界を思いっきり楽しみましたね！ ^^



## エネ博少年少女 かんじきで「雪中ハイク」 発明クラブ

大町市平の大町エネルギー博物館(上原達宏館長)で活動する、大町少年少女発明クラブは11日、恒例の「雪中ハイク」を実施した。クラブ員と保護者ら約20人が参加。博物館から高瀬川沿いの山林、大町ダムまでの雪道をかんじきを履いて散策。昼食は自作の携行缶ストーブで調理し、厳冬の時期ならではの絶景と野外活動を楽しんだ。



雪中ハイクを楽しむ参加者

博物館で防寒具や装備を確認して雪原歩きをスタート。今回は天候とたっぷりの雪に恵まれ、散策には絶好のコンディション。雪不足で昨年はほとんど出番のなかった、昔ながらの雪歩きの道具「かんじき」が、歩き始めからさっそく役立った。降り積もったふかふかの新雪の上も、沈むことなく快適に歩くことができ、かんじきの有効性を体感していた。

冬期間は閉ざされている大町ダムに到着すると、参加者は緑地公園で各自が持参した缶ストーブを使って調理を楽しん

だ。落ち葉や木の枝など身近にあるものを燃料として火をおこす道具で、この日のためにクラブ活動でそれぞれが自作した。

食材は各自が持参して思い思いに好きなものを作った。湯を沸かして手軽なカップ麺を作るだけでなく、ソーセージやスモークチキン、ベーコンエッグを焼いてサンドイッチにしたり、餅やチーズ、マシュマロ、ポップコーンなど、熱源を自由に活用して、白銀の中で趣向を凝らした野外料理を楽しんだ。

## 厳冬の絶景 大町ダムへ



冬ならではの体験を満喫したクラブ員たち

# 大糸タイムズ

発行所  
◎大糸タイムス社  
長野県大町市俄町1851  
〒398-0002  
TEL0261(22)2110  
FAX0261(22)2111

ホームページ  
<http://www.ohitotimes.co.jp/>  
Eメール(記事)  
hodo1@ohitotimes.co.jp  
Eメール(広告)  
koukoku@ohitotimes.co.jp

購読料1カ月2,300円(税込)  
1部100円

本紙購読申込所

羽田(大町西側)☎0261-22-1450

羽田(大町東側)☎0261-22-0553

羽田(常盤)☎0261-22-1450

読売大町☎0261-22-4784

矢崎(池田)☎0261-62-2533

読売安曇野(池田)☎0261-62-2252

山本(白馬)☎0261-72-2024

(小谷)

藤沢(八坂)☎0263-87-2354

穂高信毎☎0263-83-7878

滝沢(豊科)☎0263-73-3000

鳥羽(明科)☎0263-62-2312

雪中ハイクを満喫した参加者



## 大町少年少女 野外料理も楽しむ 発明クラブ

大町市平の大町エネルギー博物館(上原達宏館長)で活動する、大町少年少女発明クラブは11日、恒例の「雪中ハイク」を実施した(本紙既報)。博物館から高瀬川沿いの雪深い山林を、かんじきを履いて散策。昼食はクラブ活動で自作した缶ストーブで昼食を作り、趣向を凝らした野外料理を楽しんだ。非日常の雪上の冒険を全身で感じながら、大町の豊かな自然をたっぷり満喫した。

カモシカとの出会いもあった



# かんじき履いて雪中ハイク

缶ストーブ料理の美味しさに感動



冬ならではの絶景を楽しむ

自作の缶ストーブ大活躍



雪の上もかんじきて楽々



缶ストーブで火起こし



雪合戦も楽しんだ

## 令和6年度 発明クラブ クラブ員感想

※ ①…楽しかったこと、②…難しいと感じたこと、③…くふうしたこと、④…来年の希望、⑤…その他

- 中2女子 ① 電子工作での「はんだづけ」が楽しかった。  
② ドローンの操作をおぼえるのが大変だった。  
③ 木工作で、ビー玉の道をぐねぐねに曲げたり、重りなどを工夫した。  
④ 来年は受験もあり、忙しくなるので参加できない。  
⑤ 今年は参加できなかったのですが、来年は模型飛行機大会だけでも参加したい。
- 小6男子 ① 模型飛行機の羽の形を作ったこと、ロボカップジュニアのプログラミングが楽しかった。  
② 飛行機がどうやったらよく飛ぶのかがよくわからない。  
③ ロボカップジュニアで、ロボットがルール違反にならないよう工夫した。  
④ 昨年度の活動でやった野焼きをまたやりたい。  
⑤ 模型飛行機大会でもっといい結果を出すこと。ロボカップジュニア東海大会にまた出たい。
- 小6男子 ① ドローン体験。また、長野高専サイエンスツアーで金属探知機を作ってしっかり動作したこと。  
② 模型飛行機を作る時、微調整が難しかった。金属探知機の「はんだ付け」も隣のはんだとくっついて難しかった。  
③ 模型飛行機を作っている時に、失敗しても自分で工夫したり対応策を考えた。  
④ 今年の模型飛行機大会は、直前で飛行機が壊れてしまったので、来年また挑戦したい。  
⑤ ドローン体験のタイムトライアルでもっといい結果が出したい。
- 小6男子 ① ロボカップジュニアで仲間と機体を調整したりできて楽しかった。  
② 飛行機製作の調整が難しかった。  
③ 飛行機の微調整。どう調整したら機体の動きがどうなるか、しっかり考えて調整した。  
④ 来年もドローン体験、飛行機製作、ロボカップ、電子工作をやりたい。  
⑤ なし。
- 小6男子 ① 電子工作の金属探知機が出来ているか心配だったが、ちゃんと動いたときは嬉しかった。  
② ロボカップジュニアで2回目の上級者向けソフトを使ったが、タッチセンサーのプログラミングがとても難しかった。  
③ ロボカップのロボットの周りをひっかからなくするように丸くしました。  
④ 来年もロボカップジュニア（大町大会）で1位をとりたい。  
⑤ なし。
- 小6女子 ① 自分で考えて、設計して、作ってみることが楽しかった。  
② ロボカップジュニアのプログラミングが難しかった。  
③ ロボカップジュニアで機体が他とすぐに絡まるので、テープを貼って改善した。  
④ 来年は今年やらなかったものに参加したいと思う。  
⑤ とても楽しかった。
- 小6女子 ① 木工のシーソーベルの飾り付けと電子工作の「はんだ付け」が楽しかった。  
② ドローン体験の操縦が思ったより難しかった。やっぱりシミュレーターの方がいい。  
③ 木工のシーソーベルの道をいくつも作ったり、おみくじやハズレもつくった。  
④ まだやったことのないロボカップジュニア。雪中ハイクと電子工作でラジオを作りたい。  
⑤ 模型飛行機大会で3位になれた。来年は2位以上を目指したい。
- 小5女子 ① 木工工作のシーソーベル。好きなようにコースを作ったり、飾り付けをしたところが楽しかった。  
② 模型飛行機製作で翼の紙貼りがズレたり、うまく切れなかったりで難しかった。  
③ 木工工作の「おもり」がかかるくてビーズを入れたらおもくなりました。  
④ 来年は飛行機の紙をもっとキレイに貼れたらと思う。  
⑤ なし。

- 小4 男子 ① 模型飛行機の工作が楽しかった。  
② 模型飛行機の翼をつけるところがむずかしかった。  
③ ロボカップジュニアの機体が壁にぶつかって、動かなくならないようにした。  
④ 今度はペットボトルロケットをやってみたい。  
⑤ 模型飛行機大会で20秒ぐらい飛ばしたい。ロボカップジュニアで勝ちたい。

- 小4 男子 ① ロボカップジュニアでの機体操作やプログラミング。  
② ロボカップジュニアのプログラミング。  
③ ロボカップジュニアで機体の回りにつけたプラ板。  
④ ロボットを作ってみたい。  
⑤ なし。

- 小4 男子 ① 模型飛行機製作。工作や解説がたのしかった。  
② 電子工作の金属探知機。模型飛行機製作。  
③ 模型飛行機に水をかけたら、翼がびんびんになったこと。  
④ モーターのエレベータをつくってみたい。  
⑤ なし。